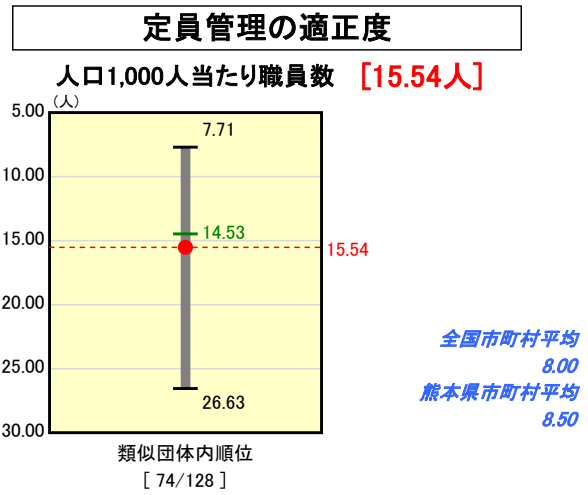
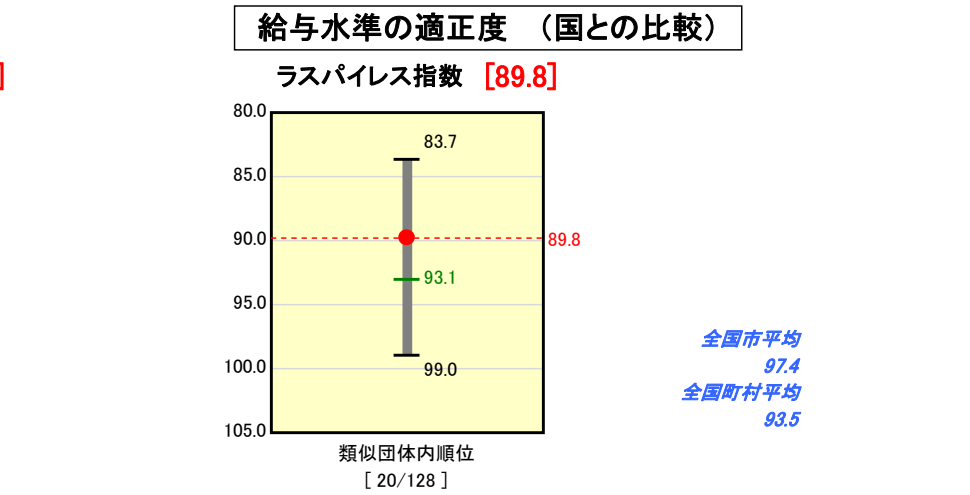
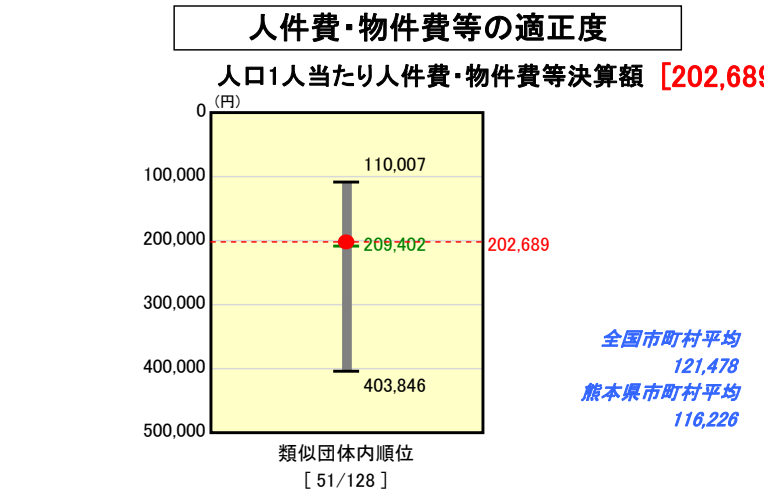
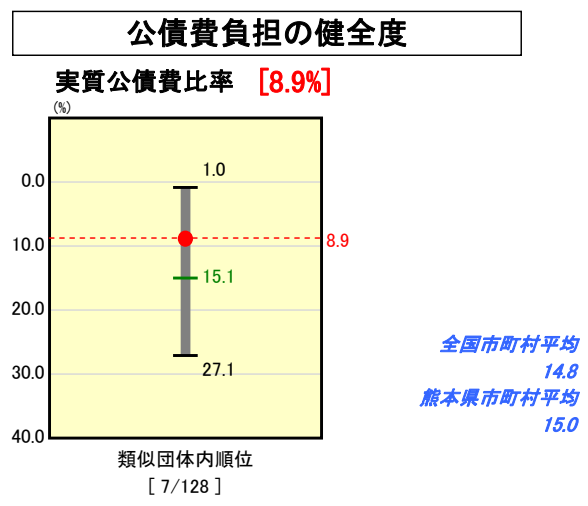
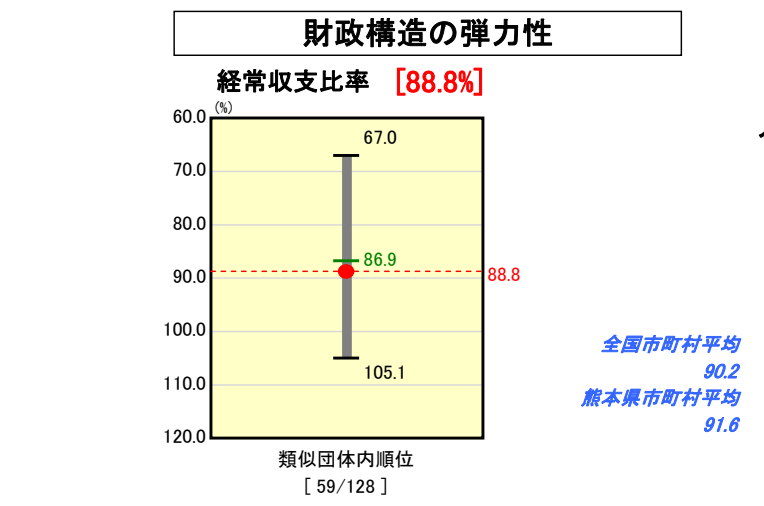
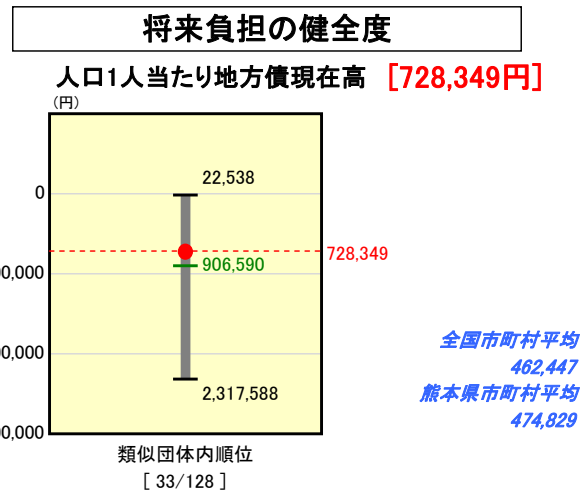
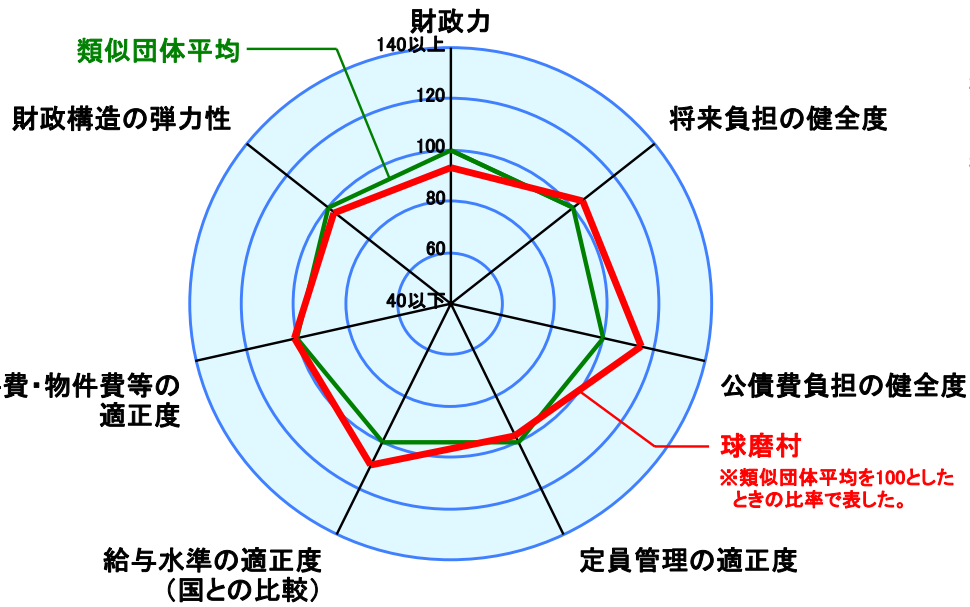
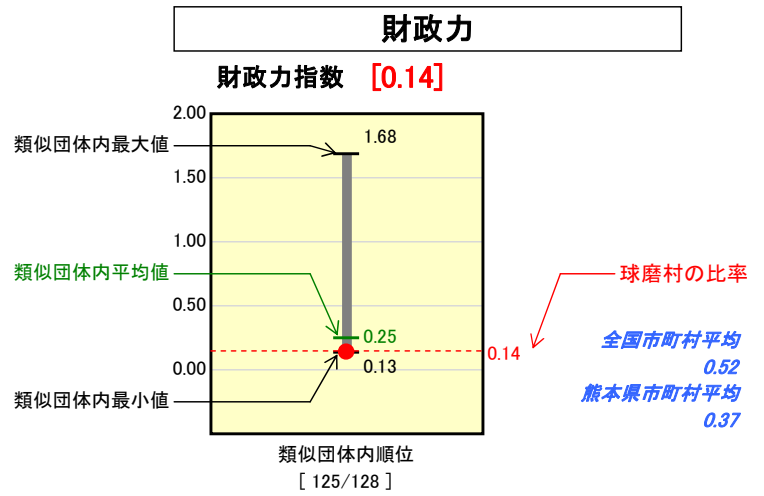


市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

熊本県 球磨村

人口	5,018	人(H18.3.31現在)
面積	207.73	km ²
歳入総額	3,452,884	千円
歳出総額	3,323,309	千円
実質収支	126,475	千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

財政力指数：高齢化や景気低迷による基幹産業の不振などにより、税収等の自主財源が乏しい状況にある。類似団体との比較においても下回る状況となっている。今後とも適正な財政規模による行財政運営に努め、限られた財源の効率的な執行を図る。

経常収支比率：昨年に比較し、1.2%上昇し、類似団体との比較でも今年度は上回っている。主な要因としては、人件費、福祉関係経費の増加による。「集中改革プラン」に掲げた目標を達成すべく行財政改革に取り組むと共に、人件費の削減においても新規採用の抑制等を図り、現在比率の改善に鋭意取り組むものとする。

ラスパイルズ指数：昨年に比較し、1%上昇しているものの類似団体との比較では、低い水準に位置している。今後とも給与制度の動向等を注視し、適正な給与水準の確保に努めるものとする。

実質公債費比率：普通建設事業費に係る起債額が近年減少傾向にあったことにより、類似団体平均を下回っている。今後の方針としても、起債依存の事業について適切な実施を図り、現在の水準を堅持していくこととする。

人口1人当たり地方債現在高：近年、大規模事業が少なかったため、現在のところ類似団体を下回っているが、昨年度と比較すると1人当たりで約4千円の増となっている。今後、村内小学校の統廃合等の新規事業も見込まれるため、地方債での対応事業を抑制し、類似団体平均を上回らないように努める。

人口1,000人当たり職員数：計画的な職員採用に努めてきているものの類似団体をやや上回っている。今後、団塊世代の退職により職員数の減少が見込まれるが、新規採用においては類似団体との比較を注視しつつ定員管理の適正化に努めたい。

人口1人当たりの人件費・物件費等決算額：類似団体平均に比べやや下回っている。人件費等の義務的経費の増加を抑制しつつ効率的な行政運営により、物件費等についてもコスト削減の方向を堅持し行財政改革を進めていく方針である。